

# 2年学年だより

金沢市立高岡中学校第2学年

第4号

2021年4月21日（水）発行

学年目標：『認め合い、学び合い、共に歩もう』

- ・正しい判断力を身につけて行動しよう
- ・目標をもって、学習や特別活動などに積極的に取り組もう
- ・互いを尊重し、思いやりの気持ちを持とう



## 《4月20日 総合的な学習の時間》

4月20日（火）の総合的な学習の時間に、金沢市都市政策局より2名のゲストティーチャーとオンラインでつなぎ、SDGs（持続可能な開発目標）について、金沢ミライシナリオについて、お話ししていただきました。2030年までに世界のみんなで達成する目標であり、中学生のみんなが主役であるということ、金沢市での取り組み、全国の事例などをお話しいただきました。

〈生徒の感想〉

・金沢市がいろいろな取り組みをしていることを初めて知りました。金沢ミライシナリオの①の自然は、自分にもできることだと思うので、ゴミを捨てたりせずに過ごすことができるなと思いました。かわまちづくりも、家から近いところに犀川があるので、きれいになったらいいなと思いました。（1組 Mさん）

・今日はゲストティーチャーの方の話を聞いて、2030年までの17目標のゴールに向けて、犀川に来る人を増やし、いこいの場にするために、地域の方との連携などの協力で、面白いイベント活動をしていることを知り、私も行ってみたいと思いました。私たちが2030年の後の主役として、世界の人を幸せにする、自分たちも幸せになるために、少しのことで役に立つことができたらいいなと思いました。そして、家族や、地域の人にSDGsの詳しい活動内容を理解してもらい、世界中のみんなと2030年に向けてよりよい環境作りをしていきたいと思いました。（2組 Tさん）



・SDGsはNPOの人や、各国代表の人で、3年もかけて決まっていたことに驚きました。また、SDGs後は、私たちが主役なので、SDGsが終わったからといって、今までやっていたことをやめるなどにはしないようにしたいです。金沢でも、ライトアップなど、様々な活動を行っているんだな、と知りました。川を利用するのに99.5%の人が「良い」や「まあ良い」とこたえているのは、みんなが犀川が好きだからだと思うので、良いところをたくさん遠足で見つけて、もっと好きになりたいです。（3組 Sさん）

・前の集会で、いまいちSDGsがどんなものなのか理解できなかったの、しっかりと知ることができて良かったです。環境を良くしていくために、私たちには何ができるのか考えさせられました。かわまちづくりでは、もっと犀川に興味を持とうと思ったし、犀川で開かれるイベントなどにも行ってみたいと思いました。2030年になってSDGsの後は私たちが主役なことにびっくりしました。未来のことも、ちゃんと

意識して過ごしていこうと思います。(4組 Kさん)

・「SDGs」は、自分とは遠い存在に感じていたけど、犀川についての話で、より身近に感じることができました。「SDGs」の17の項目は、何をすれば良いのか難しかったけど、金沢ミライシナリオは、金沢に必要なこと5つをいっていてわかりやすかったし、少しずつでも達成するようがんばりたいと思いました。今あるものを有効に利活用していくことが大切なんだと知りました。(5組 Sさん)

・SDGsは世界全体での、自分たちの生活をガラッと変えるトランスフォーミングだとわかりました。そして、SDGsの主体は自分たち(子供たち、若者たち)であることや、金沢がSDGs未来都市に選ばれたこともわかりました。私たちには、幸せになる権利、声を上げる権利があるので、SDGsについてもっと考えていこうと思いました。犀川でやっているイベント(サイガワリバーサイド)のことを初めて知りました。話を聞いて面白そうだと思いました。私も犀川に必要なものは何か考えていこうと思います。お話を聞かせてもらい、ありがとうございました。(6組 Mさん)



シナリオ  
1

自然、歴史、文化に立脚したまちづくりをすすめる  
**古くて新しく心地よいまち**

金沢の地形は、山地、台地、平野、河川などから構成されています。起伏豊かな地形を土台に歴史や文化が蓄積され、今日では生物多様性に富み保存と開発の調和がとれた創造都市として国内外へ独自性を放っています。こうした金沢の自然、歴史、文化の価値をさらに高め、住む人の目線で心地よいまちづくりをすすめます。



シナリオ  
4

誰もが生涯にわたって学び活躍できる社会風土をつくる  
**働きがいも、生きがいも得られるまち**

人生100年代においては、仕事と仕事以外の生活を調和させ、その両方を充実させることが欠かせません。多様な人材が、ライフステージや能力に合わせた柔軟な学び直し、働き方の選択ができる社会風土を醸成します。



シナリオ  
2

環境への負荷を少なくし資源循環型社会をつくる  
**“もったいない”がないまち**

持続可能な社会を実現するには、環境への負荷を軽減し、限りある資源を循環させる仕組みや技術を導入することが重要です。個人のライフスタイル、あらゆる企業活動、地域活動において、二酸化炭素排出量の抑制、再生可能エネルギーの導入、フードロスの削減、ごみの資源化などをすすめます。



シナリオ  
5

文化や産業に革新的イノベーションが起きる仕組みをつくる  
**新しいもの、ことを生み出すまち**

AIなどの技術の進化により加速する変革、持続可能な経営や中長期的な企業価値が問われる時代になっています。こうした背景を踏まえ、金沢の強みである文化の成長産業化や起業支援、学術機関やNPOなどの連携、人材の多様性の推進など、創造性・革新性の向上に向けた仕組みをつくります。



シナリオ  
3

次代を担う子供たちの可能性を引き出す環境をつくる  
**子供がゆめを描けるまち**

「当たり前の生活」を享受できない相対的貧困が社会問題となっています。生まれ育った家庭の経済状況や障害などに左右されることなく、すべての子供が安心して個性豊かに育つことができる環境をつくります。また、教育格差の是正や、文化や芸術などを通じて子供の自己肯定感を高める活動に、学校、地域、NPOなど多様なステークホルダーとともに取り組みます。



### シナリオ 1~5 をすすめるパートナーシップ

協働のパートナーは、市民、地域、NPO、企業、行政などすべての主体です。多様な主体が「金沢ミライシナリオ」に参加し、組織を越え、それぞれの強みを生かしたパートナーシップを組むことで、複雑に絡み合った課題の解決を目指します。

